

# 2024(令和6)年度 部局マニフェスト ～私たちの組織使命と目標～

部局名	監査委員事務局
役職	事務局長
氏名	稲森 真一
連絡先	0595-22-9740(内線2940)



業績目標の標語(指導者評価)  
 目標としていた達成水準を上回る成果を出した(100%超)  
 目標としていた達成水準に到達した(100%)  
 わずかに目標の達成水準に達しなかった(90%以上100%未満)  
 目標の達成水準には届かなかった(60%以上90%未満)  
 目標の達成水準までは遠い結果となった(60%未満)  
 目標達成のための取り組みが見られなかった

業績目標	表題	現状や課題	達成水準 (どこまでできれば達成したといえるか)	達成状況 (自己評価)	理由
◎部局目標1	関連の施策・基本事業No   —				
公平公正で“市民の視点に立った監査”の実施(自治基本条例第43条)	適正な事務の執行に向けた監査の実施	<これまでの経緯> 監査方針および監査計画に基づいて監査等を実施している。 <取り組む目的> 行政事務が適法かつ正確であり、費用対効果に配慮したものとして所期の目標を達成する。 <現状分析> 対象のリスクを識別した監査を実施 <課題> 実効性を向上させるための監査手法の検討と実施	<目標数値> 定期監査での指摘事項に対し各所属から示される改善策等が、監査委員の意図を十分汲み取られた適切な組織運営につながるものとして公表できる。 <達成された状態> 住民の福祉の増進を阻害する要因を回避または低減する内部チェック機能が働き、適正かつ効率的な事務が実施されている。 <手段・工程> ・監査書類等の事前調査による共通課題の洗い出し ・市民目線・市民感覚での重点監査事項の決定 ・監査委員との連携強化	▶	
◎部局目標2	関連の施策・基本事業No   —				
公平公正で“市民の視点に立った監査”の実施(自治基本条例第43条)	効率的な事務の執行に向けた監査の実施	<これまでの経緯> 対象となるすべての所属と対面形式で監査等を実施している。 <取り組む目的> 受監機関の負担および環境への負荷等の軽減に配慮した監査等の実施 <現状分析> オンライン会議等が浸透している中、遠隔地の所属にとっては、来庁して順番まで待機している時間が負担になる。 <課題> 証憑書類等の現物確認	<目標数値> オンライン形式による監査等試行所属数 決算審査、定期監査 各6所属 <達成された状態> 受監機関にとって負担が少なく、効率的な監査実務が実施されている。 <手段・工程> ・監査実務に関する先進的な取組事例の情報収集 ・試行後の検証	▶	